

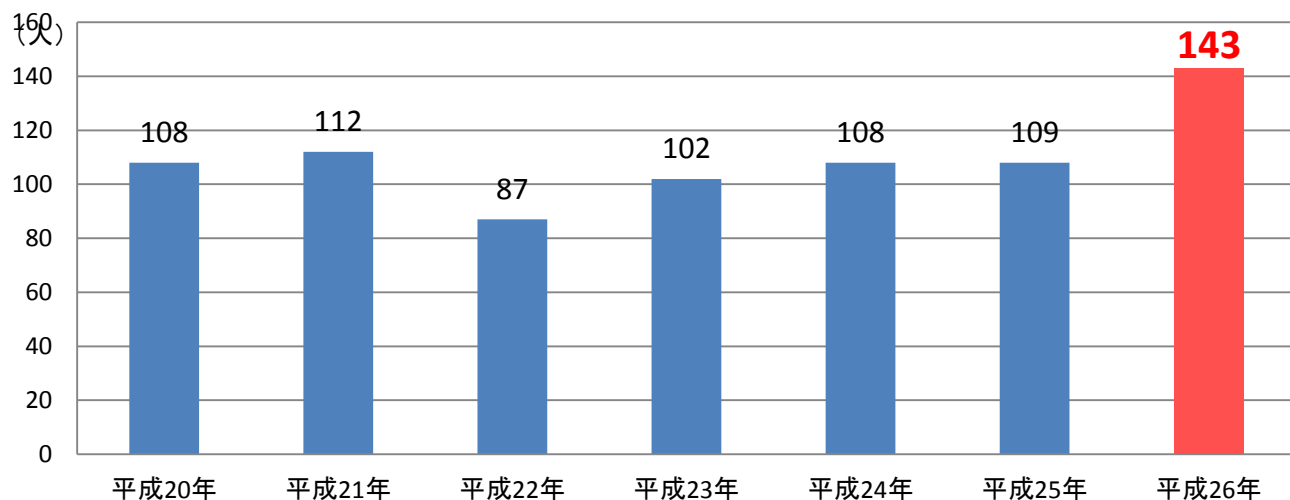
建築工事業における労働災害発生状況①

沖縄労働局健康安全課

休業4日以上の死傷災害

- ・労働災害は平成23年から増加傾向にある。
- ・平成26年は対前年比**31.2%**増加した。

労働災害発生状況の推移

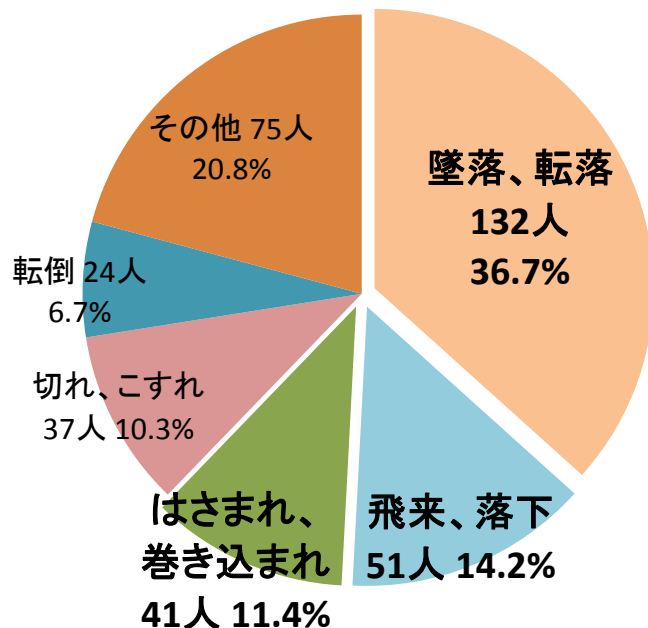


事故の型別災害発生状況

(平成24年～平成26年)

事故の型別死傷災害の内訳

- ・「**墜落、転落**」が**36.7%**と多く、次いで「**飛来、落下**」が**14.2%**、「**はさまれ、巻き込まれ**」が**11.4%**となっており、この三つで**62.2%**を占める。



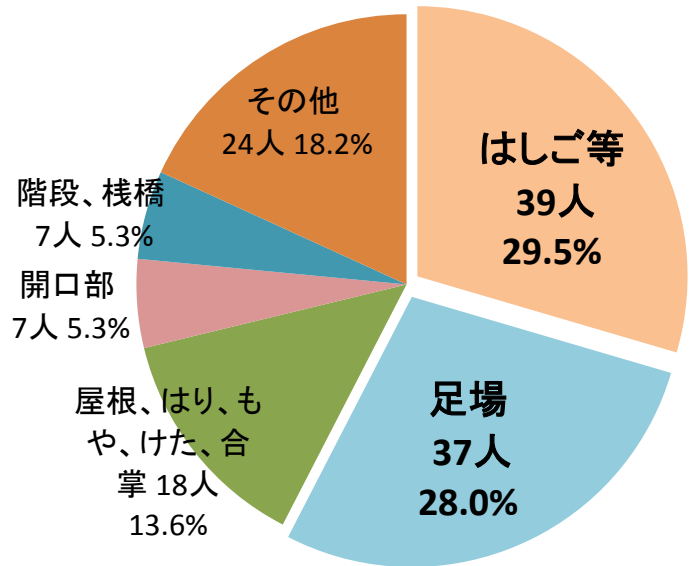
建築工事業における労働災害発生状況②

沖縄労働局健康安全課

墜落・転落による起因物別災害発生状況 (平成24年～平成26年)

「墜落・転落」による起因物別災害発生状況

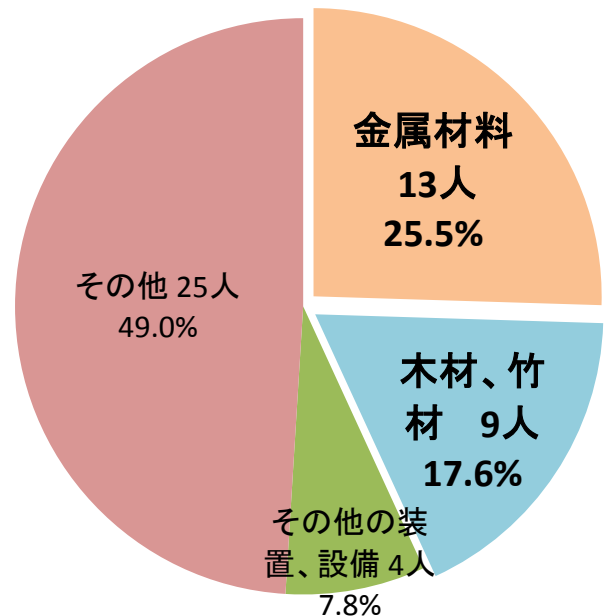
- ・「はしご等」が**29.5%**と多く、次いで「足場」が**28.0%**となっており、この二つで**57.6%**を占める。



飛来・落下による起因物別災害発生状況 (平成24年～平成26年)

「飛来・落下」による起因物別災害発生状況

- ・「金属材料」(単管材、わく組足場材、鉄骨材、鉄板など)が**25.5%**と多く、次いで「木材、竹材」(角材、ベニヤ板など)が**17.6%**となっており、この二つで**43.1%**を占める。



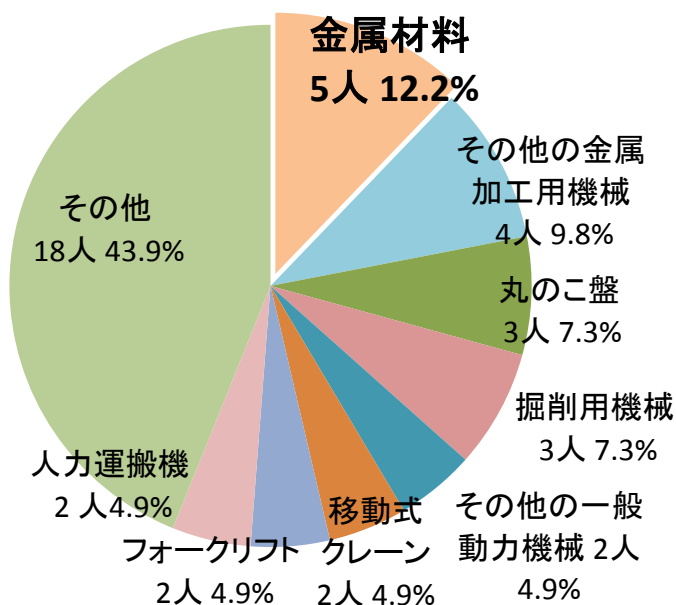
建築工事業における労働災害発生状況③

沖縄労働局健康安全課

はさまれ・巻き込まれによる起因物別災害発生状況 (平成24年～平成26年)

「はさまれ・巻き込まれ」による起因物別災害発生状況

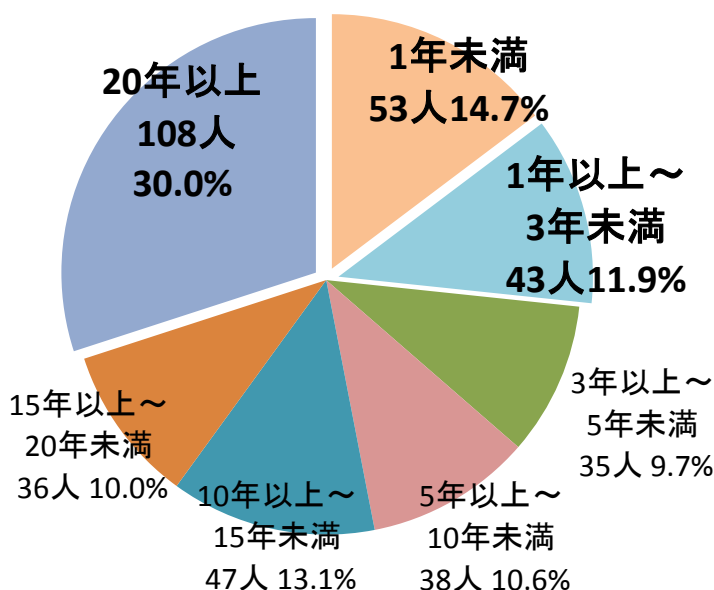
- ・「金属材料」(H鋼、鉄板など)が**12.2%**と多く、次いで「その他の金属加工用機械」が**9.8%**、「丸のこ盤」が**7.3%**、「掘削用機械」が**7.3%**となっており、その他に移動式クレーンやフォークリフトなどがある。



経験年数別災害発生状況 (平成24年～平成26年)

経験年数別死傷災害の内訳

- ・経験年数が「20年以上」の死傷者が**30.0%**、「3年未満」の死傷者が**26.7%**を占めている。



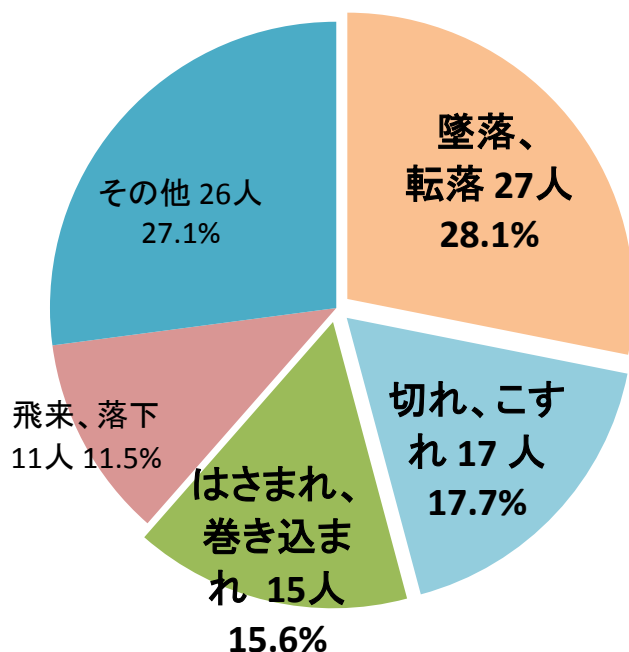
建築工事業における労働災害発生状況④

沖縄労働局健康安全課

経験年数3年未満の事故の型別災害発生状況 (平成24年～平成26年)

経験年数「3年未満」の事故の型別災害発生状況

- ・「墜落、転落」が**28.1%**と多い。
- ・全件数に比較して「切れ、こすれ」が**7.4%**、「はさまれ、巻き込まれ」が**4.2%**高くなっている。



経験年数20年以上の事故の型別災害発生状況 (平成24年～平成26年)

経験年数「20年以上」の事故の型別災害発生状況

- ・「墜落、転落」が**48.1%**と多い。
- ・全件数に比較して「墜落、転落」が**11.4%**高くなっている。

